

三次看護専門学校 授業要項

科目		心理学		担当講師	吉本 早苗	
学科名	学 年	クラス	単位(時間数)	授業の種類	実 施 時 期	
第一看護学科	1年	AB	1(30)	講義	令和8年度 前期	
科目目標 看護の対象である人間の心の動き，行動のメカニズムについて理解する。						
授業概要 この科目は，専門基礎分野，専門分野の基礎となる科目であり，看護の対象である人間を心の側面から理解する科目である。特に人間を相手に行われる看護の実践においては，良好な対人関係を構築し，相手の反応や行動にどんなところの動きや意味があるのかを理解し，関わる必要がある。そのための基礎知識として，人間のこころのとらえ方や発達，学習，適応，記憶，感情などの心理について理解を深める。						
回数	時間数	内 容		回数	時間数	内 容
1	2	1．心理学とは		9	2	9．性格
2	2	2．知覚		10	2	10．発達
3	2	3．注意		11	2	11．社会
4	2	4．記憶		12	2	12．感情
5	2	5．学習		13	2	13．意識
6	2	6．思考		14	2	心理的援助
7	2	7．言語		15	2	医療・看護と心理
8	2	8．知能		【テキスト・参考書】 系統看護学講座 心理学，医学書院 【成績評価の方法】 ☑ 筆記試験		

三次看護専門学校 授業要項

科 目		倫理と哲学			担当講師名		古賀 直樹	
学科名		学年	クラス	時間数	実 施 時 期			
第一看護学科		2年	A	1単位 30時間	A：令和8年4月14日～12月14日 B：令和8年4月13日～12月14日			
科目目標・単元目標 現代の医療では技術の発展や社会の変化とともに、人間の生老死に関して、またそれらに対する私たちの思考・感情・価値に関してとても複雑で難しい問題が提起されている。このような問題を整理し、さまざまな角度から検討するための道具あるいは教養として哲学を学ぶことが授業の目標である。								
授業概要 とにかく難解に感じられる哲学であるが、学生の皆さんは哲学を理解するだけでなく、自らが具体的に哲学することを求めたい。授業では前半に生命倫理に関する問題、後半に人生に関する問題を取り上げる。各回ごとにテキストとレジュメを用いた報告、議論、当日レポートの作成を行う。講義などの説明はそれらを補助するためのものと位置づける。								
回数	月日	時間数	内 容		回数	月日	時間数	内 容
1		2	〔1〕オリエンテーション ～授業内容と進め方の説明		11		2	9章「日本における尊厳死と終末医療のガイドライン」
2		2	〔2〕生命倫理の問題を考える ～香川知晶『命は誰のものか』（増補改訂版）を読む		12		2	10章「社会保障制度改革とACP」
3		2	報告担当グループ決定 報告・説明・議論 当日レポートの作成		13		2	11章「脳死と臓器移植」
4		2	1章「医療資源配分の問題」		14		2	12章「臓器不足をめぐる問題」
5		2	2章「パンデミックとコロナウィルス・トリアージ」		15		2	13章「医療技術の進歩と人間の生命」
6		2	3章「障がい新生児の治療停止」					
7		2	4章「出生前診断と選択的中絶」		テキスト・参考書			
8		2	6章「命の選択と優生思想」		『命は誰のものか』（増補改訂版）、香川知晶著（ディスカヴァー・トゥエンティワン、2021）			
9		2	7章「代理出産と生殖技術の展開」		成績評価の方法			
10		2	8章「死ぬ権利の法制化」		☒ 授業態度 ☒ レポート試験 ☐ 実技試験			

※1回は90分（2時間）です。

※試験は時間外です。

三次看護専門学校 授業要項

科 目		社会学		担当講師名	江頭 大藏	
学科名	学年	クラス	単位 (時間数)	授業の種類	実 施 時 期	
第一看護学科	1	A・B	1 (30)	講義	令和8年度前期	
科目目標・単元目標 社会学的発想を基礎から学習することを通して、現代社会における様々な問題を認識する。						
授業概要 社会学的発想の基礎をなす古典的な考え方を理解し、現代社会の諸問題を社会学的に学習する。						
回数	時間数	内 容		回数	時間数	内 容
1	2	1. イントロダクション		11	2	11. G.H. ミードと自我の社会性
2	2	2. M. ウェーバーと近代合理主義の運命		12	2	12. 準拠集団と相対的不満
3	2	3. 官僚制の逆機能		13	2	13. ドラマツルギーと自己提示
4	2	4. 「マクドナルド化」と消費社会		14	2	14. 社会調査と社会学
5	2	5. E. デュルケームと『自殺論』		15	2	15. 全体のまとめ
6	2	6. 逸脱行動とラベリング		16		試験
7	2	7. 集合的記憶とウォーナー伝説		テキスト・参考書		
8	2	8. G. ジンメルと社会化の形式				
9	2	9. 社会的相互作用と交換理論		成績評価の方法		
10	2	10. 都市伝説と噂の研究		☒ 筆記試験		
				☐ レポート試験		
				☐ 実技試験		

※1回は90分（2時間）です。

※試験は時間外です。

三次看護専門学校 授業要項

科 目		教育学			担当講師名		曾余田 順子		
学科名		学年	クラス	時間数	実 施 時 期				
第一看護学科		2 年	A・B	30	令和8年9月28日～令和9年2月1日				
【科目目標・単元目標】（到達目標）①教育的に人間を理解するとはどういうことかを実践的に理解する。 ②看護師として学び続け自己教育力を養う考え方を理解する。									
【授業概要】教育学は、カリキュラムのなかで「人間と生活・社会の理解」に位置付けられていますが、看護師をめざす皆さんが、教育的な見方・考え方を学ぶことは、深い人間理解を基盤に看護師として成長し、深い人間理解に立った看護実践をめざす上で大変重要です。本授業では、「教育者としての看護師」というコンセプトのもと、私たち人間にとって「なぜ教育は必要なのか」を踏まえて、「教育的であるとはどういうことか」「教育するとはどういうことか」ということを、“人・もの・こと”（事例や他者）との対話を通して自己に問いかけながら、“人間理解”にこだわって探究的に考え追究していきます(体験目標＝自己内対話の実践)。こうした探究的な学びのあり方を体験し学ぶことを通して、皆さん自身の教育的な見方・考え方を自分自身が発見したり修正・形成したりすることができます。それが、看護師を目指す皆さんの自己教育力を育成していく＝自己更新していくベースづくり(方向目標)になると考えます。									
回数	月 日	時間数	内 容	回数	月 日	時間数	内 容		
1	9 28	2	導入（序章・第4章） ～「教育学」で何をどのように学ぶか？ ～これまでの自分の「学び」を、これからに向けて振り返る	11	12 21	22	Ⅱ 教育的な関係（第2章） ～「教育的な関係」を築く根本的視点 獄窓の歌人・島秋人に学ぶ（4）		
2	10 19	4	Ⅰ 教育の必要性（第1章） ～そもそも、なぜ教育は必要なのか？ アヴェロン野生児教育のイタールに学ぶ（1）	12	1 12	24	Ⅱ 教育的な関係（第2章） Ⅲ 教育的な目標（第3章） ～教育的な関係を創り出す論理を教育 ケースに探る（1）		
3	10 26	6	Ⅰ 教育の必要性（第1章） ～そもそも、なぜ教育は必要なのか？ アヴェロン野生児教育のイタールに学ぶ（2）	13	1 18	26	Ⅱ 教育的な関係（第2章） Ⅲ 教育的な目標（第3章） ～教育的な関係を創り出す論理を教育 ケースに探る（2）		
4	10 30	8	Ⅰ 教育の必要性（第1章） ～そもそも、なぜ教育は必要なのか？ アヴェロン野生児教育のイタールに学ぶ（3）	14	1 25	28	Ⅱ 教育的な関係（第2章） Ⅲ 教育的な目標（第3章） ～教育的な関係を創り出す論理を教育 ケースに探る（3）		
5	11 9	10	Ⅱ 教育的な関係（第2章） ～生涯学習を問う 「リクエスト食」の事例に学ぶ（1）	15	2 1	30	Ⅱ 教育的な関係（第2章） Ⅲ 教育的な目標（第3章） ～教育的な関係を創り出す論理を教育 ケースに探る（4）		
6	11 16	12	Ⅱ 教育的な関係（第2章） ～生涯学習を問う 「リクエスト食」の事例に学ぶ（2）						
7	11 24	14	Ⅱ 教育的な関係（第2章） ～生涯学習を問う 「リクエスト食」の事例に学ぶ（3）	テキスト・参考書 『看護師を目指す人のための教育学』 毎回レジュメと前時の提出課題一覧を 学習材として配付する。					
8	11 30	16	Ⅱ 教育的な関係（第2章） ～「教育的な関係」を築く根本的視点 獄窓の歌人・島秋人に学ぶ（1）						
9	12 7	18	Ⅱ 教育的な関係（第2章） ～「教育的な関係」を築く根本的視点 獄窓の歌人・島秋人に学ぶ（2）	成績評価の方法 ☐ 筆記試験 ☒ レポート試験 ☐ 実技試験					・授業の目的・目標に照らして評価する。 ・認定試験として問うべきことをレポートとして提出。 ・毎時間(全15回)の課題提出を認定レポート受理の条件とする。
10	12 14	20	Ⅱ 教育的な関係（第2章） ～「教育的な関係」を築く根本的視点 獄窓の歌人・島秋人に学ぶ（3）						

※1回は90分（2時間）です。

※試験は時間外です。

三次看護専門学校 授業要項

科目		人間関係論		担当講師	水戸 淳子	
学科名	学 年	クラス	単位(時間数)	授業の種類	実 施 時 期	
第一看護学科	1年	A・B	1(30)	講義	令和8年度前期	
科目目標： 傾聴の効果、カウンセリングの基本、患者の退行と精神発達の関係等を学び、現場で役立つ対人援助力を身に着ける						
授業概要 (1) 精神発達の学びを通して言語獲得までの母子関係と、病で退行した患者－看護師関係の類似、ノンバーバルコミュニケーションの大切さを学ぶ。 (2) 開示しやすくなる話の聞き方をカウンセリング・コーチングの理論、スキルで習得し、三大精神療法から認知行動療法、アサーティブコミュニケーションを学ぶ。 (3) 全体を通して途切れない観察、共感能力の努力、地道なケアの重要性を確認する。						
回数	時間数	授 業 内 容		回数	時間数	授 業 内 容
1	2	対人援助職としての看護師 看護活動の原点と聞く姿勢 聞き方演習		10	2	心身一如：心と身体つながり 身体と呼吸を感じる演習
2	2	アサーティブコミュニケーション 質問紙テストと演習		11	2	三大精神療法と認知行動療法 行動療法症例
3	2	患者の依存性、弱者性と対等な関係 自然治癒力と抱える環境		12	2	認知行動療法② 認知療法、認知行動療法症例
4	2	カウンセリングとコーチング 初級編 聞くと話すを分ける演習		13	2	抱える環境 ノンヴァーバルな抱える環境と、 患者側から見た風景
5	2	カウンセリング② 見本のロールプレイ検討と カウンセリングロールプレイ		14	2	抱える環境② どんな患者も匙を投げない地道なケア
6	2	カウンセリング③ 中級編、上級編 慰めない、無理に聞き出さない		15	2	復習
7	2	精神発達と患者の退行 身体接触と安心安全感		【テキスト・参考書】 別巻 人間関係論，医学書院		
8	2	精神発達と患者の退行② 関係の始まり→関心、行為の共有		【成績評価の方法】 ☒ 筆記試験 ☐ レポート評価 ☐ 授業参加度		
9	2	患者理解の要点 関与しながらの観察：患者の身になる、 患者の痛みに寄り添う				

三次看護専門学校 授業要項

科 目		文化人類学			担当講師名		村上 智章	
学科名		学年	クラス	時間数	実 施 時 期			
第一看護学科		2	AB	15	令和8年8月29日～令和8年10月30日			
授業概要								
人間にとっての文化を理解し、異文化や自文化を理解することで、多様な文化の背景をもった人間生活について理解する。								
回数	月 日	時間数	内 容		回数	月 日	時間数	内 容
1		2	「文化」の普遍性と多様性 テキスト 第1章 人間と文化		11			
2		2	レヴィ=ストロース「狂牛病の教訓」① テキスト 第5章 宗教と世界観 第6章 健康と医療		12			
3		2	レヴィ=ストロース「狂牛病の教訓」② テキスト 第5章 宗教と世界観 第6章 健康と医療		13			
4		2	レヴィ=ストロース「狂牛病の教訓」③ テキスト 第5章 宗教と世界観 第6章 健康と医療		14			
5		2	家族と社会 テキスト 第3章 個人・家族・家族をこえたつながり		15			
6		2	新型コロナと文化人類学 テキスト 第7章 いのちと文化					
7		2	フィールドワーク テキスト 第二章 質的研究とエスノグラフィー 参与観察		テキスト・参考書 系統看護学講座、基礎分野、文化人類学：医学書院			
8		2	まとめ（45分） レポート作成（45分）					
9					成績評価の方法			
10					☐ 筆記試験 ☒ レポート試験 ☐ 実技試験			

※1回は90分（2時間）です。

※試験は時間外です。

三次看護専門学校 授業要項

科 目		外国語 I			担当講師名		マイケル・ホルム、笠本晃代	
学科名		学年	クラス	単位 (時間 数)	実 施 時 期			
第一看護学科		1	A・B	1 (30)	令和8年度前期			
科目目標・単元目標 外国人とのコミュニケーションが図れるよう日常場面で活用できる英会話の基礎的能力を養う。								
授業概要 本授業では、医療場面でも活用できる日常場面での英会話の場面を取り上げて授業を行う。具体的には基本となる会話の文型やヒアリング、文法問題を通して学ぶ。英語会話力とは、単に英語が喋れるというだけでなく、文化的背景や相手の感情など、さまざまな事情に配慮することが重要である。そのため、異文化理解も同時に行いながら授業を進める。								
回数	月 日	時間数	内 容		回数	月 日	時間数	内 容
1		2	Unit1 初診受付の流れを学ぶ Unit2 初診登録に必要な表現		11		2	Unit4 What department do you want to visit?
2		2	Unit3 初診受付の流れを学ぶ Unit4 患者を案内する		12		2	Unit5 Where is the X-ray department?
3		2	Unit5 患者の症状を聞く Unit6 薬の処方について学ぶ		13		2	Unit5 Where is the X-ray department?
4		2	Unit7 診察の流れを学ぶ Unit8 外科診療の流れを学ぶ		14		2	Unit6 What are your symptoms?
5		2	Unit9 問診の流れを学ぶ Unit10 診察前の計測を行う		15		2	Unit6 What are your symptoms?
6		2	Unit11 患者に検査をすすめる Unit12検査の結果を説明する					
7		2	Unit13患者に入院をすすめる Unit14 入院前の説明を行う Unit15 退院後のアドバイス		テキスト・参考書 1. 樋口昌彦著：CHECK-Up！ Basis English for Nursing 基礎から学ぶ優しい看護英語 2. 知念 クリスティーン他著：クリスティーンのやさしい看護英会話			
8		2	Unit1 Please speak more slowly					
9		2	Unit2 Where are you from?		成績評価の方法 ■ 筆記試験			
10		2	Unit3 Could you tell me your address please?					

※1回は90分（2時間）です。

※試験は時間外です。

三次看護専門学校 授業要項

科 目		外国語Ⅱ			担当講師名		マイケル・ホルム	
学科名		学年	クラス	単位 (時間数)	実 施 時 期			
第一看護学科		3	A・B	1 (15)	令和8年4月13日～令和8年6月15日			
科目目標・単元目標 外国人とのコミュニケーションが図れるよう医療現場で活用できる英会話の基礎的能力を養う。								
授業概要 本授業では、医療場面でも活用できる英会話の場面を取り上げて授業を行う。								
回数	月日	時間数	内 容		回数	月日	時間数	内 容
1		2	Unit7 Where does it hurt?		11			
2		2	Unit8 Have you ever had any serious illness?		12			
3		2	Unit9 Take one tablet, four times a day.		13			
4		2	Unit10 Let me make an appointment for your test.		14			
5		2	Unit11 Your surgery will be tomorrow at9a.m.		15			
6		2	Unit11 Your surgery will be tomorrow at9a.m.					
7		2	Unit12 How are you feeling today?		テキスト・参考書 知念 クリスティーン他著： クリスティーンのやさしい看護英会話			
8		1	Unit12 How are you feeling today?					
9					成績評価の方法 ■ 筆記試験			
10								

三次看護専門学校 授業要項

科目		健康スポーツ学			担当講師	外部講師（恵谷裕三10、三好悠貴14、枝美穂6）	
学科名		学 年	クラス	単位(時間数)	授業の種類	実 施 時 期	
第一看護学科		2 年	A・B	1(30)	講義	令和8年4月15日～ 令和8年11月18日	
科目目標 身体活動をとおして人間のスポーツと健康に関する科学的な知識を理解し、生涯にわたる健康意識の向上を図る							
授業概要 人間にとってスポーツやレクリエーションがどのような意義をもつのか理解し、健康を維持・増進させるために必要な基礎的知識を養う。また、その計画や実践を通じて、方法や留意点を学ぶ							
回数	時間数	授 業 内 容			回数	時間数	授 業 内 容
1	2	V レクリエーションの意義（講義） 1～5回目 恵谷 裕三先生			10	2	III スポーツの計画 ③（演習） 企画した案を発表
2	2	VI レクリエーションの方法（講義）			11	2	IV スポーツの実践 ①（演習） 企画したスポーツを実践
3	2	VII レクリエーションの計画（演習）			12	2	IV スポーツの実践 ②（演習） 企画したスポーツを実践
4	2	VII レクリエーションの計画（演習）			13	2	VIII 有酸素運動とストレッチ（演習） 13～15回目 枝 美穂先生
5	2	VIII レクリエーションの実践（演習）			14	2	VIII 有酸素運動とストレッチ（演習）
6	2	I スポーツと健康（講義） スポーツの意義 スポーツと健康 6～12回目 三好 悠貴先生			15	2	VIII 有酸素運動とストレッチ（演習）
7	2	II スポーツの進め方（講義） トレーニングの種類、有酸素運動、無酸素運動、スポーツの進め方（生活習慣病や加齢とスポーツなど）			【テキスト・参考書】 健康スポーツ科学 医学書院		
8	2	III スポーツの計画 ①（演習） スポーツをグループで企画（計画）					
9	2	III スポーツの計画 ②（演習） スポーツをグループで企画（計画） *6人程度の班で作成する			【成績評価の方法】 ☐ 筆記試験 ☒ 演習発表内容 ☐ レポート ☒ 参加度		